レインフォールレコーダー TER-10 **保証書**

お客様	お名前
	電話番号
	ご住所
保証期間	※ 御納入日　　年　　月より１ヵ年間
対象部分	本体
修理方法	持ち込み修理

・お手数でも※箇所を正しくご記入の上、保管してください。
・この保証書は引き渡し日から有効となります。
・本書は、引き渡し日から上期間中に故障が発生した場合には、本書下部記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下部をご参照ください。

タバイ エスペック 株式会社

大阪市北区天神橋 3-5-6 〒 530-8550　　TEL (06) 6358-4741

ご販売店名

1. 保証書の内容、期間

ユーザーズマニュアル等の注意書による使用状態で故障した場合、この保証書に示す期間と条件に従い無償で修理させていただきます。

2. 保証適用除外事項

(1) 次のような場合には、保証期間内でも有償となります。
①ユーザーズマニュアルに示す以外の誤った使い方、天災および事故、指定外の使用電源、使用条件および運転条件による故障・損傷・傷害
②弊社が認めていない不当な修理または改造による故障・損傷・損害
③お買い上げ後の落下・転倒、輸送中の故障・損傷・損害

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。
①電池および電池交換費用
②弊社または弊社代行店以外による修理、点検、調整、清掃
③製品を使用できなかったことによる損失、不便さ、商業損失等の付随的または結果として発生する損害等

3. 保証の適用

この保証は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only for Japan.

4. お客様に守っていただく事項

①ユーザーズマニュアルに示す使用方法での機器の使用
②本保証書の保管（本書は再発行いたしません）

5. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、弊社代行店あるいは弊社へお申し付けください。
保証書のご提示がない場合、または保証書に正しく必要事項の記入がない場合は保証修理をお受けいたしかねます。
なお、使用場所まで出向いての修理につきましては、別途出張料を申し受けます。

Rainfall Recorder　TER-10

ユーザーズマニュアル

タバイ エスペック 株式会社

■本　　社　大阪市北区天神橋 3-5-6 〒530-8550
TEL06-6358-4741 代表　FAX06-6358-5500

■首都圏本部　横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパーク・ウエストタワー 9F 〒240-0005
TEL045-336-6400 代表　FAX045-336-6401

■首都圏本部　東京都千代田区神田須田町 2-7 タームスビル 2F 〒101-0041
東京オフィス　TEL03-3256-0881　FAX03-3256-0882

●仙台営業所	TEL (022) 234-4881	FAX (022) 275-0561
●大宮営業所	TEL (048) 643-1918	FAX (048) 645-1597
●筑波営業所	TEL (0298) 54-7805	FAX (0298) 54-7785
●東京営業所	TEL (03) 3256-0881	FAX (03) 3256-0882
●日野営業所	TEL (0425) 84-2175	FAX (0425) 84-2124
●横浜営業所	TEL (045) 336-6410	FAX (045) 336-6411
●松本営業所	TEL (0263) 48-0401	FAX (0263) 48-0410
●静岡営業所	TEL (054) 237-8000	FAX (054) 238-3441
●名古屋営業所	TEL (052) 777-2551 代表	FAX (052) 777-2575
●金沢営業所	TEL (0762) 60-8030	FAX (0762) 60-8033
●大阪営業所	TEL (06) 6358-4746	FAX (06) 6358-5500
●広島営業所	TEL (082) 830-5211	FAX (082) 876-5050
●新居浜営業所	TEL (0897) 41-3163	FAX (0897) 43-1139
●福岡営業所	TEL (092) 471-0932	FAX (092) 474-3500
●福知山工場	TEL (0773) 27-3131 代表	FAX (0773) 27-3135
●宇都宮 ﾃｸﾉｺﾝﾌﾞﾚｯｸｽ	TEL (028) 667-8730 代表	FAX (028) 667-8733

クオリティーは言葉を越えて　QUALITY IS MORE THAN A WORD

IM00165

Rainfall Recorder 仕様

入力信号	転倒ます型雨量計からのパルス信号(接点信号または電圧信号) 電圧信号の場合の電圧範囲:± 2 ～ 30V
1パルスあたりの雨量	0.5mm または 1.0mm
表示雨量項目	1時間：直前1時間の積算雨量を表示　1秒ごと更新 1　日：直前1日間の積算雨量を表示　10分ごと更新 降始め：転倒ます型雨量計より信号を最初に検出したときからの積算雨量を表示　1秒ごと更新
算出雨量範囲	1～9999mm　　分解能 ： 1 mm
液晶表示	「1時間」「1日」「降始め」の雨量を切替表示、 警報時の表示、ブザーON/OFF、電池マーク
記録間隔	10分間の雨量を10分毎に記憶
記録方式	エンドレス方式
記録データ数	57600個(400日間)
警報設定	「1時間」「1日」「降始め」の雨量に各々設定可能
警報条件	「1時間」「1日」「降始め」の雨量のうち1つでも設定値を超えたとき
警報時動作	警報文字表示、 ブザー鳴動、 外部出力
使用電源	単4アルカリ電池　2本
電池寿命	約1年（測定環境 ・ 使用電池の性能による）
外形・重量	W88×H55×D24mm／約95g(電池を含む)
耐熱温湿度	－10～60℃　　90%RH以下(非結露)
付属品	単4アルカリ電池　2本、 壁面アタッチメント　1個 ユーザーズマニュアル ・ 保証書　1部

※ 雨量計への接続ケーブルは、別途ご用意ください。

ソフトウェアセット・ＴＥＲＨ－１０１０(別売)

機能　記憶開始日時の設定・本体のデータ吸い上げ
記憶データの集計・グラフ化など

表示雨量項目について

1時間　直前(現在から)1時間前までの積算雨量を表示し、1秒ごとに表示を更新します。

1日　直前(現在から)1日前までの積算雨量を表示し、１０分ごとに表示を更新します。
転倒ます型雨量計より信号を検出しても最大１０分間積算値表示が変わりません。(注1)

降始め　転倒ます型雨量計より信号を最初に検出したときからの積算雨量を表示し、1秒ごとに表示を更新します。
リセット時間が経過すると積算雨量の表示は0にリセットされます。

(注１)
「１日」の積算雨量は１０分ごとに集計します。「１時間」と「降始め」の積算雨量は１秒ごとに集計します。そのため、見かけ上「１日」の積算雨量が他の２つの積算雨量に比べ少なく表示される時がありますが、この表示のズレは１０分ごとに補正されます。

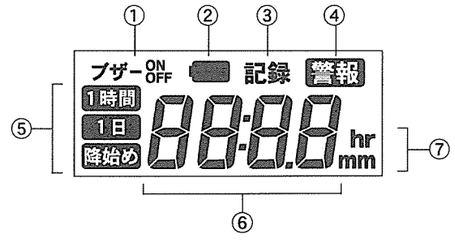
リセット時間とは・・・

転倒ます型雨量計より信号を最後に検出してから、「降始め」の積算雨量が0にリセットされるまでの時間をいいます。

リセット時間は6、１２、２４時間から選択し、設定します。設定については裏面の「リセット時間の設定」をご覧ください。

手動で積算値表示を0にしたいときの操作は、裏面の「積算値表示のリセットについて」をご覧ください。

液晶表示



① **ブザーＯＮ／ＯＦＦ**
警報発信時のブザーのＯＮ／ＯＦＦを示します。

② **電池マーク**
電池電圧が下がると表示されます。

③ **記録状態表示**
常時点灯。

④ **警報表示**
警報発信時に表示されます。詳細については裏面の「雨量監視について」をご覧ください。

⑤ **表示雨量項目**
3種類の表示雨量項目を1秒ごとに切替表示します。

⑥ **雨量表示部**
3種類の積算雨量を1秒ごとに切替表示します。

⑦ **単位**
mmは雨量の単位を、hrは時間の単位を示します。

⚠ 危 険

- 電池を飲み込むと危険です。電池・レインフォールレコーダー本体は、お子様の手の届かない所に設置、保管してください。
- 本機は雨量計測用転倒ますに接続して使用するものです。他の用途には使用しないでください。

⚠ 注 意

- **本機の動作結果を用いることによって生じるいかなる損害に対しても、タバイエスペック株式会社は一切の責任を負いません。**
- **本機の警告は参考データとして考案されたものであるため、雨量警告は利用者の責任によって行ってください。**
- 本機を当社指定の技術者以外の人が分解、修理、改造することは絶対に行わないでください。
- 本機を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本機は、防水性能がありませんので、絶対に濡らさないでください。
- 通信ケーブルの差込口に指や異物を入れないでください。
- 本体は周囲温度－１０～６０℃・湿度９０％RH以下で使用してください。
- 本機と転倒ます型雨量計を接続する時は、接触不良およびショートしないように結線してください。また、端子部に雨水等がつかないようにしてください。
- 電池端子は経時変化、振動等により接触が不良になる恐れがあります。電池の接触不良によってデータが失われる恐れがありますのでご注意ください。

お願い

- 直射日光や高温多湿の場所で使用したり、保存しないでください。
- 酸、アルカリ、有機溶剤、腐食性ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。
- 本機が汚れた場合は、アルコールをふくませた清潔な布で拭いてください。
- ケーブルを屋外へ配線する場合は、防水性のよい、屋外で使用できるものにしてください。
- 電池寿命は、測定環境や電池の品質により一定ではありません。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。電池を入れたままにしておきますと電池から液漏れすることがあり、故障の原因につながります。

TERH-1010

ユーザーズマニュアル

専用ソフトウェア

Rainfall Recorder for Windows®
Ver.1.00

⚠
・本マニュアルを読み、内容を理解してからソフトウェアを使用してください。
・いつでも使用できるように大切に保管してください。

タバイ エスペック株式会社

本　　社　大阪市北区天神橋 3-5-6 〒530-8550
TEL06-6358-4741 代表　FAX06-6358-5500
首都圏本部　横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパーク・ウエストタワー 9F 〒240-0005
TEL045-336-6400 代表　FAX045-336-6401
首都圏本部　東京都千代田区神田須田町 2-7 タームスビル 2F 〒101-0041
東京オフィス　TEL03-3256-0881　FAX03-3256-0882

IM00167

時間管理について

本ソフトウェアは、レインフォールレコーダー本体より吸い上げたデータを、1時間または1日間隔で棒グラフや一覧表に表示します。
レインフォールレコーダー本体は１０分ごとに記憶を行うためデータを吸い上げたときに、１時間積算雨量または１日積算雨量で最大１０分のずれが発生します。時間のずれを解消するために、「本体設定・通信」メニューから「予約記憶設定」を選択し、時間設定の分単位を[00]分にして記憶を開始することをおすすめします。操作方法など詳細については、ソフトウェアの中のヘルプをご覧ください。

ソフトウェア仕様

対応機種	レインフォールレコーダー　TER-10
対応OS	Microsoft Windows® 95/98/NT4.0　日本語版
対応パソコン	上記OSが動作するパソコン(PC98 IBM/PC互換機など)
	シリアル通信ポート(RS-232C　D-sub 9ピン)が必要
	CPUがインテルi486相当以上
必要メモリ	16MB以上
ハードディスク	2M以上の空き容量(データは、別途空き容量が必要)
通信機能	本体状態設定(警報設定・本体表示雨量項目設定など)
	予約記憶設定・記憶データ吸い上げ
表示	棒グラフ(1時間間隔・1日間隔表示)　1台分
ファイル出力	専用ファイル・テキストファイル(1時間間隔・1日間隔)
付属品	①Rainfall Recorder for Windows（ソフトウェア）　一式
	②通信ケーブル(RS-232C D-sub 9ピン 長さ1.5m)　1本
	③ユーザーズマニュアル　1部

⚠ ご注意

- タバイ エスペック株式会社（以下弊社）は、Rainfall Recorder for Windows®または、Rainfall Recorder for Windows®にて得られたデータを用いたことによりご利用者に直接または、間接的障害が生じてもいかなる責任賠償等は負わないものとします。
- Rainfall Recorder for Windows®は、ご利用者へ事前の連絡なしに仕様を変更したり、サービスの提供を中止する場合があります。その場合、Rainfall Recorder for Windows®をご利用いただけなかったり、ご利用者に直接または間接的障害が生じた場合でも、弊社はいかなる責任賠償等は負わないものとします。
- 弊社は、万一 Rainfall Recorder for Windows®に不備があっても、訂正する義務は負わないものとします。
- 弊社は、Rainfall Recorder for Windows®に関して一切保証いたしません。
- Rainfall Recorder for Windows®（プログラム及び関連ドキュメントを含める）の著作権は、弊社に帰属します。
- Rainfall Recorder for Windows®に改変を加えないでください。
- Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における登録商標です。
また、本書に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。

再インストールするには

①Rainfall Recorder for Windowsを終了します。
②コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を選択します。
③Rainfall Recorder for Windowsを選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。
④[はい(Y)]ボタンをクリックすると、既存のRainfall Recorder for Windowsが削除されます。
⑤再度、Rainfall Recorder for Windowsをインストールします。

印刷について

本ソフトウェアには印刷機能はありません。
印刷は、次の方法で行ってください。

グラフ印刷

①「Rainfall Recorder for Windows」を起動し、データを表示します。
②「Rainfall Recorder for Windows」のウィンドウのハードコピーを取ります。
ハードコピーの取り方：IBM AT互換機の場合は、[Alt]キー＋[PrintScreen]キーを同時に押す。
③Windowsのアクセサリから「ペイント」を起動します。
④「ペイント」にて「編集」メニューの「貼り付け」を実行します。
⑤グラフが表示されたら、印刷を行ってください。

データー覧表の印刷

①「Rainfall Recorder for Windows」を起動し、データを表示します。
②「ファイル」メニューより「データをテキスト形式で保存」を実行し、テキストファイルを作成します。
③Windowsのアクセサリから「ワードパット」を起動して、作成したテキストファイルを読み込みます。
④データが表示されたら、印刷を行ってください。

困ったときは

Q：通信ケーブルがパソコンに接続できないのですが？

A：付属の通信ケーブルがパソコンのシリアルポート(D-sub 9pin)に正しく接続されているか確認してください。
直接接続できない場合は、以下の変換アダプタ(ジェンダーチェンジャ)が必要になります。
⚠ 注意事項：変換アダプタは全てストレートのものを使用してください。

日本電気(NEC)製 PC98シリーズ（NXシリーズ以外）
パソコン側のコネクタ　D-sub 25ピン メス
変換アダプタ　D-sub 9ピン オス → D-sub 25ピン オス

日本電気(NEC)製 PC98シリーズ ノートパソコン（NXシリーズ以外）
パソコン側のコネクタ　ハーフピッチ 14pin メス
変換アダプタ　D-sub 9ピン オス → ハーフピッチ 14ピン オス
変換アダプタ組合せ　D-sub 9ピン オス → D-sub 25ピン オス
D-sub 25ピン メス → ハーフピッチ 14ピン オス

※上記は、NECのPC-9801NL,NS/L,PC-9821Ne以降に発売されたノートパソコンで使用されています。

AT互換機(DOS/V)
パソコン側のコネクタ　D-sub 25ピン オス
変換アダプタ　D-sub 9ピン オス → D-sub 25ピン メス

Q：レインフォールレコーダーの設定またはデータを、吸い上げることができないのですが？

A：お使いのパソコンに省電力機能がある場合、シリアルポートを使用しない設定になっていないか確認してください。
特に、NECのPC98シリーズのノートパソコンで設定されているケースがあります。

A：お使いのパソコンがAT互換機(DOS/V)の場合、BIOSでシリアルポートが使用不可能になっていないか確認してください。

A：Windows 95/98をお使いの場合で、シリアルポートが使用不可能になっていないか確認してください。
オールインワンパソコンに多いのですがモデム等にリソース使用されていることがあります。

《確認方法》

①コントロールパネルよりシステムを起動します。(図１)

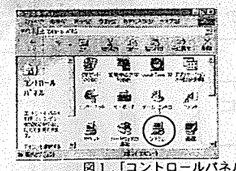


図１．「コントロールパネル」

②システムのプロパティより「デバイスマネージャ」の「ポート(COM&LPT)」をダブルクリックします。(図２)

③「ポート(COM&LPT)」の下に「通信ポート(COM1)」または、「ポート(COM2)」があることを確認してください。(図３)
ポートの表示がある場合は、通信ポートの使用が可能です。

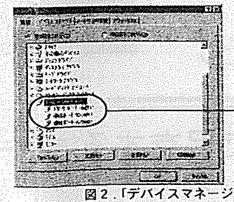


図２．「デバイスマネージャ」

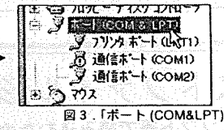


図３．「ポート (COM&LPT) 拡大表示」

- 「！」「×」マークがついている場合は、通信ポートの使用はできません。通信ポートが使用できない場合は、パソコンのメーカーへお問い合わせください。
- 通信できない場合のデバイスの詳細(図４)
「！」マークのついている通信ポートを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックすると、表示します。

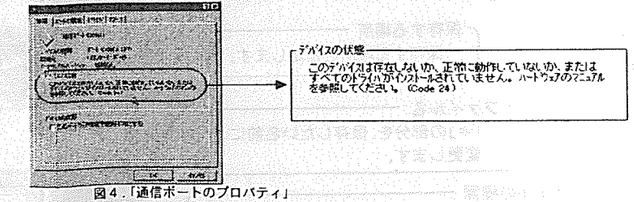


図４．「通信ポートのプロパティ」

A：モデム内蔵のパソコンで、通信ポートをモデムが使用していないか確認してください。
Windows 95/98をお使いの場合などで、通信ポートの設定がされているのに使用できない場合に考えられます。
モデムの使用している通信ポートを確認してください。コントロールパネルから「モデム」を開くと確認することができます。

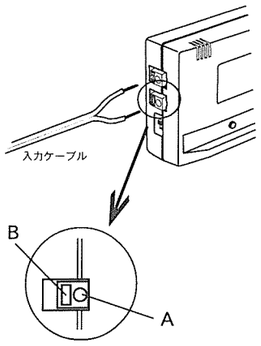
A：シリアルポート(RS-232C)の切り換え機をつけたり、通信ケーブルを延長すると通信できないことがあります。

A：他の通信ソフトが起動していないか確認してください。

A：お使いのパソコン以外に、他のパソコンをお持ちの場合は、他のパソコンで試してください。

測定準備

1．本体と雨量計を接続する

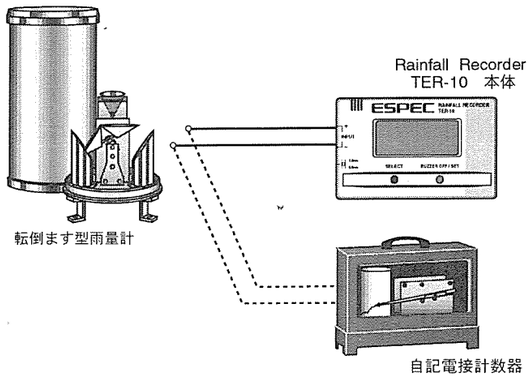


■ケーブルはφ０．５～０．９の単芯を使用し、被覆は10㎜ほどむいてから、Ｂのボタンをドライバなどで押しつけながらＡの穴に差し込んでください。
ケーブルをはずすときは、Ｂのボタンをドライバなどで押しつけながらケーブルを引き抜きます。
取り扱いには十分ご注意ください。

雨量計側の接続については、雨量計の取扱説明書をご覧ください。

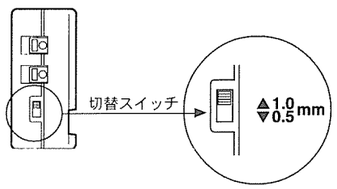
※雨量計への接続ケーブルは、別途ご用意ください。

【接続図】●並列に接続できます。



2．雨量切替スイッチを設定する

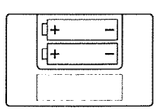
■転倒ます型雨量計の仕様に合わせて１パルスあたりの雨量を切替えます。



●転倒ます型雨量計を途中で変えた場合も、設定を切替えると正しく記憶を続けることができます。

3．電池を入れる

■単４アルカリ電池２本をセットします。



●２本とも新しい電池を入れてください。
●＋・－を間違えないようにセットしてください。
●電池を入れると、計測と記憶が開始されます。

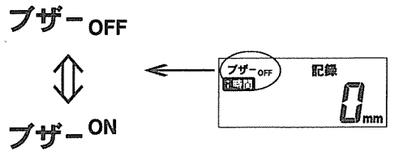
雨量監視について

監視は「１時間」「１日」「降始め」の各表示雨量項目についてそれぞれ設定することができます。
（設定については「雨量監視設定」をご覧ください。）
雨量が監視の各設定値を１つでも上回ると警報を発信します。警報時の動作には文字表示、ブザー、外部出力があります。
一度警報が発信されると解除するまで動作を続けます。（解除については「警報解除」をご覧ください。）
外部出力はアラームユニット・TERH-1020（オプション）を接続することにより、警報装置（サイレンや回転灯等）が利用できます。

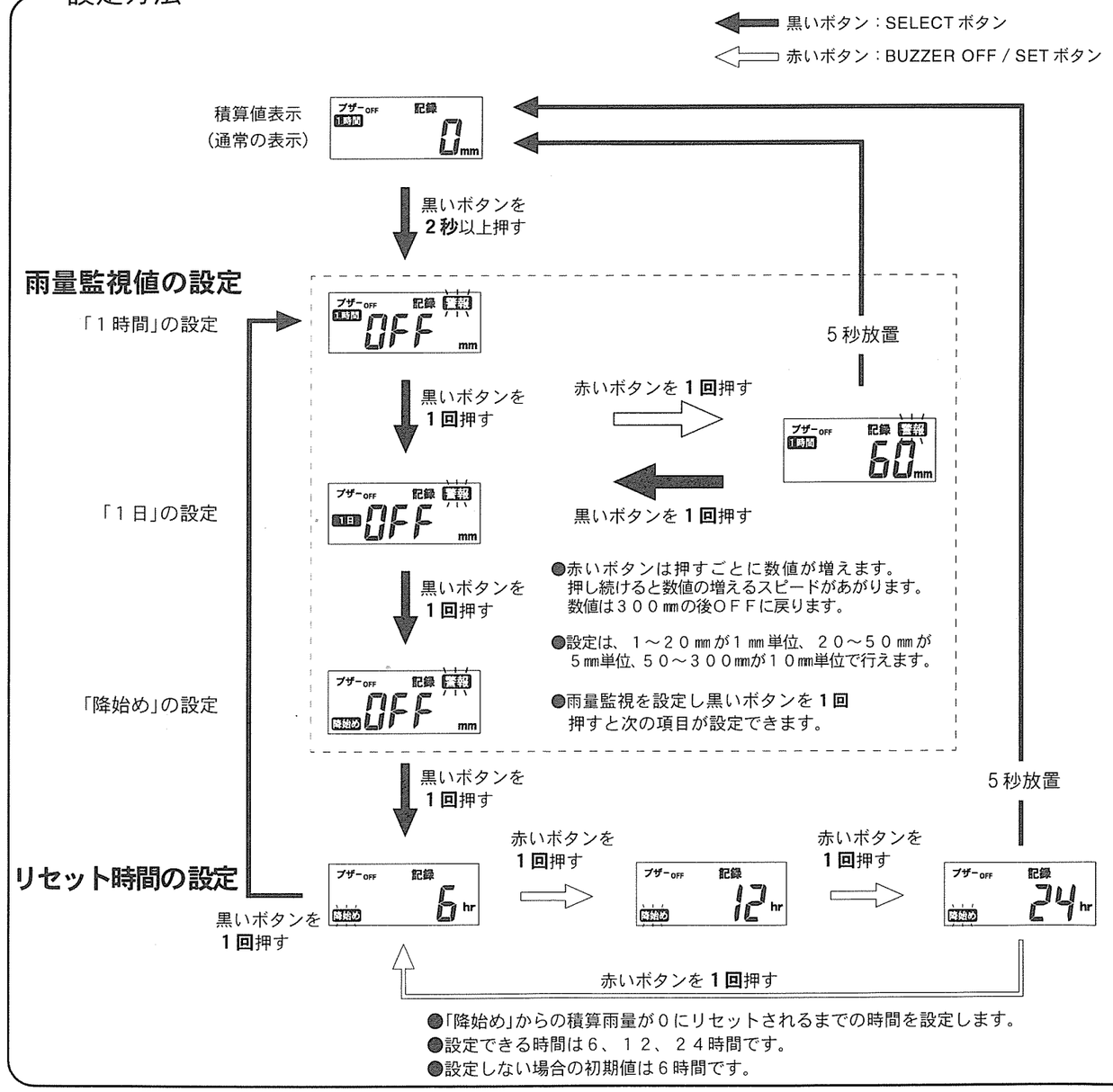
ブザー設定

黒いボタンと**赤いボタン**を同時に押すと表示がＯＮ⇔ＯＦＦと切替ります。
（右図参照）

常時ＯＮ⇔ＯＦＦの切替が可能です。



設定方法



電池寿命

■電池電圧が下がるとマークが表示されますので、早めに電池を交換してください。記憶中でも電池交換はできます。
さらに電池電圧が下がると下の図のようなスリープ状態になります。

この状態の場合記憶は継続されますが警報、スイッチ操作をすることはできません。
また、このまま電池がなくなると記憶データは全て消えてしまいますが、電池がなくなる前に電池交換を完了すると継続して記憶ができます。

■本機の警報ブザーが鳴っている状態では、新しい電池でも７日ほどでなくなります。

■警報表示の状態では、新しい電池でも３ヶ月ほどでなくなります。

積算値表示のリセットについて

赤いボタンを５秒以上押し続けると積算値表示が０になります。
警報などの設定値はそのままで、計測および記憶はそのまま続けます。

警報解除

■警報表示

警報状態になると警報マークが点灯し、警報状態になった表示雨量項目が点滅します。（図１）

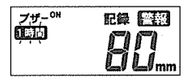


図１

測定値が雨量監視値を下回ったときに**赤いボタン**を押すと、表示雨量項目の点滅と警報の表示が消えます。
警報表示を解除しない場合、新しい電池でも３ヶ月ほどでなくなります。長期間警報を解除できない可能性がある場合には、各項目の警報設定値をＯＦＦにすることをおすすめします。

■ブザー

ブザーは**赤いボタン**を押すと停止します。
一度警報状態になると**赤いボタン**を押すまで鳴り続けます。
ブザーが鳴りつづけると新しい電池でも７日ほどでなくなります。ブザーを止める人がいない場合は、ブザーをＯＦＦに設定することをお勧めします。

■外部出力

本機にアラームユニット・TERH-1020（オプション）を接続することにより、警報装置（サイレンや回転灯等）を利用することができます。
アラームユニットの詳細については、アラームユニットのユーザーズマニュアルをご覧ください。

1. インストールと起動

■インストール

インストールする前に、必ず全てのWindowsプログラムを終了してください。

①Rainfall Recorder for Windowsのフロッピーディスクをドライブにセットします。

②フロッピーディスク１内の「SETUPEXE」を実行します。画面の指示に従い、インストールを行います。

③インストールが完了すると、スタートメニューのプログラムにフォルダが作成され、Rainfall Recorder for Windowsのアイコンが登録されます。

■ Rainfall Recorder for Windows の起動

スタートメニューから図５のように
Rainfall Recorder for Windowsを選択し、
クリックします。
Rainfall Recorder for Windowsが起動します。

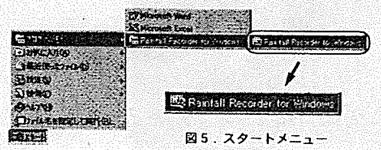
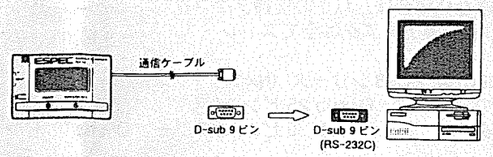


図５．スタートメニュー

2. 通信ケーブルの接続

付属の通信ケーブルを、レインフォールレコーダー本体とパソコンに接続します。



- 図６のようなシリアルポート(RS-232C)マークのある所に接続してください。
- シリアルポート以外に接続しますと、通信できませんので注意してください。
- 通信ケーブルは、接触不良が起きないように確実に挿入してください。

図６．シリアルポートマークの一例

3. 通信ポートの設定

パソコン側の通信ポートを設定します。

①Rainfall Recorder for Windowsのメイン画面「本体設定・通信」から「接続設定」を選択すると「通信ポート設定」ダイアログが表示されます。(図７)

②使用するシリアルポートを選択または、[自動検出開始]ボタンをクリックし、通信ポートを設定します。

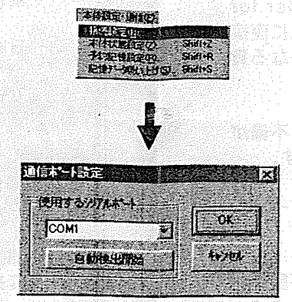


図７．通信ポート設定ダイアログ

4. 通信する

レインフォールレコーダー本体とパソコンを通信ケーブルで接続してから設定や記憶データの吸い上げをしてください。

⚠ 注 意
新規に記憶を開始(予約記憶設定)すると、レインフォールレコーダー本体に記憶されているデータは全て消却されます。必要なデータは必ず「記憶データ吸い上げ」を行ってください。

《本体状態設定》
「本体状態設定」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。(図８)
必要事項を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

※測定記憶方法は、本体ユーザーズマニュアルをご覧ください。

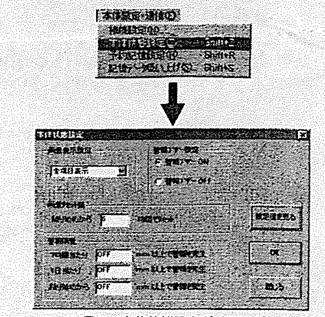


図８．本体状態設定ダイアログ

《記憶データ吸い上げ》
「記憶データ吸い上げ」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。(図９)
[吸い上げ開始]ボタンをクリックすると吸い上げが開始されます。データの保存に関しては、本紙面の「データを保存する」をご覧ください。

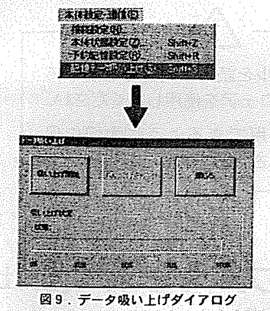


図９．データ吸い上げダイアログ

●レインフォールレコーダー本体はエンドレス方式で記憶を行うため、データは最大400日前まで吸い上げることができます。エンドレス方式とは、記憶データが57600個(400日)を越えると、一番古いデータから上書きされていく記憶方式です。

データを保存する

記憶データを吸い上げるときにRainfall Recorder for Windows形式のデータファイル(*.RFX)として保存します。

保存する場所
保存する場所を指定します。

ファイル名
「＊」の部分を、保存したい名前に変更します。

ファイルの種類
TER-10のデータを保存する場合は「レインフォールレコーダー形式ファイル」を選択します。

※サンプル画面

テキストファイル形式で保存する

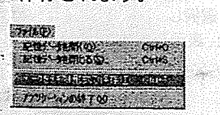
他の表計算ソフト等で読み込むために、テキスト形式で保存することができます。
テキストは、グラフで表示されている間隔(１時間または１日)で保存されます。

保存する場所
保存する場所を指定します。

ファイル名
「＊」の部分を、保存したい名前に変更します。

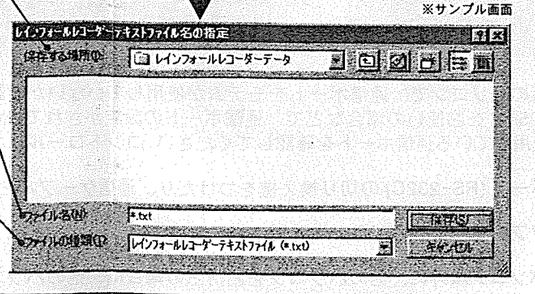
ファイルの種類
必要に応じて変更します。
・レインフォールレコーダーテキストファイル(*.txt)
・全てのファイル(*.*)

●カンマ、スペース、タブ、セミコロンは他の表計算ソフトでテキストファイルを読み込む際に、セルの区切りとして使われるコードです。
● Rainfall Recorder for Windowsは、テキストデータを読み込むことはできません。



●「データをテキスト形式で保存」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。

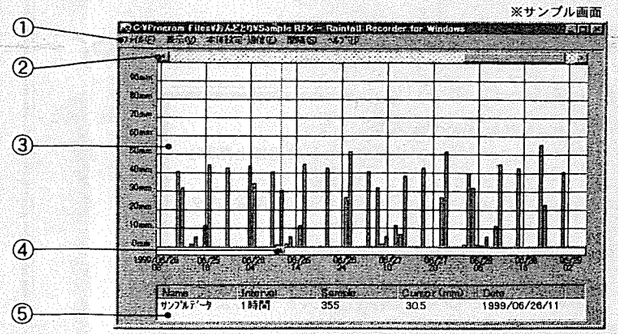
※サンプル画面



グラフ表示画面

●ソフトウェアの操作方法については、ヘルプの中で詳しく説明しています。

※サンプル画面



①メニューバー

②横軸移動ボタン
ボタンをクリックすると、時間軸が移動します。

③グラフエリア
縦軸は雨量(mm)、横軸は日時を示します。
縦軸は、「表示」メニューの「縦軸スケールの設定」により縦軸の最大値を設定することができます。
横軸の日時は、「間隔」メニューにより「１時間」または「１日」に表示を切換えることができます。

④カーソルボタン
ボタンをドラッグしながら左右に移動し、目標位置まで移動します。

⑤カーソルの情報表示
カーソルボタンを移動した位置のグラフ情報を表示します。

⑥[１時間]ボタン
表示しているグラフの一覧表を１時間ごとに0.5mm単位で表示します。

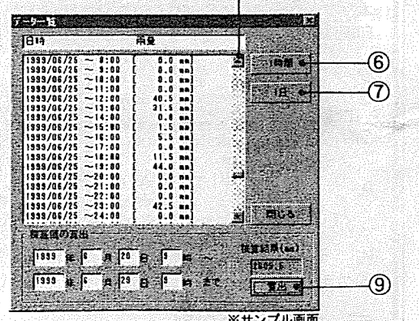
⑦[１日]ボタン
表示しているグラフの一覧表を１日ごとに0.5mm単位で表示します。

⑧スクロールバー
スクロールバーをドラックしながら上下に移動し、目標位置まで移動します。

⑨[算出]ボタン
指定した期間の雨量の合計を算出します。
算出したい期間を指定し[算出]ボタンをクリックすると積算結果が表示されます。

データー覧表示画面

●グラフ画面が表示された状態で「表示」メニューから「データー覧表を開く」を選択すると、一覧表が表示されます。



※サンプル画面

時間雨量の時刻表示について

本ソフトウェアで扱う時間雨量は、その時間帯の雨量です。
例)「1999/07/10/07」のデータは、1999年７月10日７：00～８：00での雨量です。